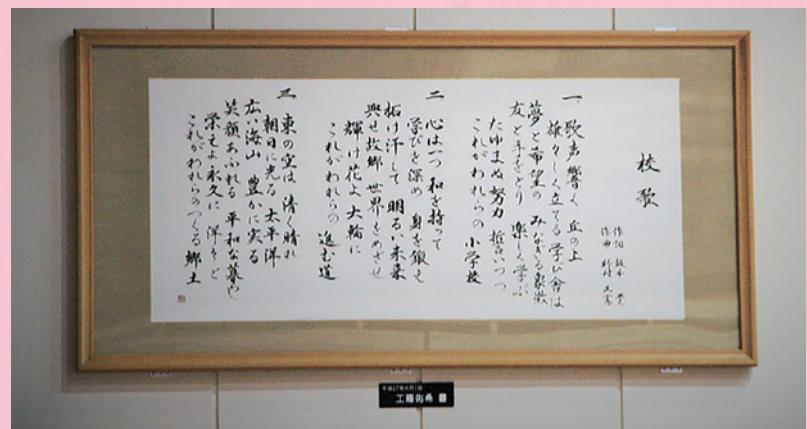


これが、わたくしの小学校 東通小学校のあゆみ

- 2004-東通小学校 校舎竣工
- 2005-東通小学校開校式
- 2005-東通小学校第1回入学式
- 2007-村内の小学校と統合
- 2015-小学校10周年
- 2025-小学校20周年
- 2026-



これが、わたくしのつくる郷土 東通小学校卒業生インタビュー

東通小学校が開校した当時、小学1年生だった、弓 大凱さん（石持出身）に、東通小学校での思い出等を伺いました。弓さんは現在、東通村役場で勤務されています。

東通小学校の頃の思い出を教えてください。

低学年の頃は新築の綺麗で広々とした校内を駆け回っては先生に捕まり、しおりちゅう怒られていきました。また、当時は食わず嫌いで給食を残そうとすると、先生が昼休みまで、付きっきりで給食を食べさせられた事を覚えています。

高学年に進み部活動が始まると、野球部に入部し、専用の屋外野球場、屋内練習場で練習に励みました。休み時間は天然芝の校庭で時間ギリギリまでサッカーをして遊んだほか、陸上競技の練習では、ターランの敷かれたトラックを嫌になる程走り込みました。振り返ると、恵まれた教育環境であったと思います。関係者の皆様と当時の先生方の熱心な御指導に対し、心から感謝しています。

地元に残った理由、役場を志望した理由を教えてください。

私は田舎ののんびりとした雰囲気が好きで、学生の進路選択の時点から、将来は地元に残ろうと考えていました。また、全国的に地方の過疎化、人口減少が問題視されています。東通村も例外ではありません。故郷がこのまま廃れてしまつては困るという危機感があつたことも、地元に残って働きたいと考えた理由の一つです。

役場の業務は多岐にわたりますが、いずれも地域住民の生活を支え、地元の機能を維持・発展させる為に大切な役割を持っています。役場の業務以外にも消防団や敬神会といった地域の活動を通し、今後も微力ながら地元貢献に務めたいと思っています。



東通小学校の頃の弓さん



現在の弓さん